

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域公共交通再構築！！「筑北えべさー」出発進行プロジェクト
事業主体 (連絡先)	筑北村 筑北村総務課 0263-66-2111 e-mail:soumu@vill.chikuhoku.lg.jp
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	655,560 円 (うち支援金： 497,000 円)

事業内容

平成30年7月から「時間帯デマンド型乗合バス」運行を含む新たな村営バス運行システムの実証実験運行を行い、期間中に得られた分析結果等を踏まえ、本年度は、更なる利便性の向上に向け、運行内容の見直しを行い、10月1日より、バス停留所の増設(10ヶ所)や運行時間の延長などを含むリニューアル運行を開始しました。

また、ハード面と並行して地域住民の公共交通に対する関心を高め、必要性や今後のあり方を考えていただく機会として、村内各種団体の活動の場へ赴き、公共交通に関する説明会を実施するとともに、地域住民に新公共交通システムへの理解を深め、利用を促すためのパンフレット・ポスターを作成し、地区の集会、役員会等を通じて住民への周知を図りました。また、高齢者の運転免許返納についても啓発、促進について村交通安全協会等と連携して行いました。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1 リニューアル内容掲載のパンフレット配布・村内公共施設、商業施設等へポスターを掲出した結果、利用者の増加に繋がった。
- 2 村内においてバス路線が通っていなかった地区へデマンド専用のバス停留所を設置し乗り入れを可能とした事で利用者の増加に繋がった。(10ヶ所中8カ所)
- 3 減少傾向にあった村営バス利用者に一定の歯止めが見られ、高齢者を中心とする住民の足として、今後も利用者の増加が見込まれる。
- 4 バス運行及び車両管理等を専門知識を有する民間事業者へ委託したことにより、安全で安心な村営バスの運行に繋がった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も運行状況の分析、利用者へのモニタリングなどを行い、そこから得られた課題や住民の声を反映させながら必要な修正を加え、筑北村に相応しい、よりよい地域公共交通システムを村内全域に展開していく。長期的な視点では、隣接する市村との連携を強化し、市村を跨ぐ広域的な公共交通の構築が望まれている。



【 デマンドバス専用停留所標識(百瀬) 】

【目標・ねらい】

- ① 村営バス利用者の増加
- ② 安全性・利便性の向上
- ③ 住民の意識改革・高揚

※自己評価【B】

【理由】
村営バス利用者の減少に歯止めがかかり、利用者からも一定の評価が得られ、地域公共交通の利便性向上に繋がったと考える。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある